

泉大津市介護予防いきいきポイント事業

受入施設のための
介護予防ボランティア
受入れ
ハンドブック



泉大津市保険福祉部高齢介護課
泉大津市社会福祉協議会

はじめに

泉大津市では、高齢者の皆さまが地域の中でいきいきと暮らしが続けることができるよう、「泉大津市介護予防いきいきポイント事業」を実施します。

この事業は、地域の中でボランティアとして活動していただいた高齢者に対してポイントを付与し、活動を後押しするしくみです。

この活動を通して高齢者の社会参加や地域貢献を行うことにより、生きがいを持って元気に生活されることを期待しており、ひいては、介護予防を推進し、健康寿命の延伸をめざしています。

受入施設の皆さまにおかれましても、この機会を契機に地域の高齢者と関わることで、高齢者を受け入れ見守られる従事者の方々や施設を利用される方々にとっても良い刺激となり貴重な機会となるよう、本事業を推進してまいりたいと存じますので、活動の場となる受入施設の皆さまのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

令和 7 年 7 月 1 日

泉大津市保険福祉部高齢介護課

もくじ

1. 目的の明確化と共有	1
2. 体制づくり	1
3. 介護予防ボランティアとの面談	3
4. 活動当日のサポートと振返り	4
5. 感謝	4

1 目的の明確化と共有

所属施設が介護予防いきいきポイント事業の受入施設として登録した目的や、介護予防ボランティアが当事業に参加する目的を明らかにすることは、両者の良好な関係形成において重要です。

施設のメリット

- ・介護予防ボランティアが架け橋となり地域社会との相互理解を深める
- ・職員とは違う立場で利用者の想いを傾聴してもらうことで、新たなニーズの発見に繋がり、本来のサービスを手厚く提供できる（サービスの質・量の拡充）
- ・利用者の社会との関わりが広がる

介護予防ボランティアのメリット

- ・活動のために外出することで、心身の機能低下を予防する
- ・地域での支え合いや新しい出会いに触れる
- ・自分の経験やスキルを活かす場になる
- ・利用者や職員に感謝されることにより社会貢献による喜びを得る

このように介護予防いきいきポイント事業は、両者にとってメリットがあります。両者が気持ちよく活動するためには、受け入れる側の意識や体制が整っていることが重要です。受入れの前に本事業に参加した目的について、施設内の共有をしてください。そうすることにより、受入れにふさわしい雰囲気になります。

2 介護予防ボランティアを受け入れる体制づくり

初めて活動する介護予防ボランティアは、どのような施設なのかと不安な気持ちを抱えています。施設で何をしたらよいか、「活動してみたい」と一步を踏み出した介護予防ボランティアの不安を和らげ、安心して活動できるようにするためには、特定の職員だけでなく、施設全体が受け入れる意識を持つことが大切です。お互いが気持ちよく過ごせるよう、介護予防ボランティアが活動しやすい環境作りにご協力ください。

役割分担

施設長、ボランティアコーディネーター、現場職員それぞれの役割分担を決める。責任を持って関われる体制を整える。

窓口

相談窓口をはっきりさせておく。
介護予防ボランティアが気軽に相談できる雰囲気づくりをする。

気づき

介護予防ボランティアがしてみたいこと、理解してほしいことなど、介護予防ボランティアの想いについても気づき、理解する。

寄り添い

介護予防ボランティアの発言に耳を傾ける。
想いを受け止め、誠意をもって対応する。

プログラム

施設として介護予防ボランティアに何を期待するのか、どのようなニーズがあるのかをまとめ、ニーズから、いつ・どこで・どんな活動をしてもらうか検討し、プログラムを考案する。（活動内容参照）

- （プログラム例）
- ・レクリエーションの場で、なつかしい歌を一緒に歌ってもらう
 - ・施設において決まった時間に、お茶を出してもらう
 - ・週2回程度午後に、利用者さんの話し相手をしてもらう
 - ・月1回程度、庭の木や花の手入れをしてもらう

◆活動内容◆

1. 話し相手
2. 行事、レクリエーションの運営・補助
3. 囲碁・将棋などの相手
4. 外出（散歩等）の見守り（身体介助を伴わないもの）
5. 食事配膳・下膳の補助
6. 掃除（軽微なもの）
7. 花壇の水やり等
8. その他 1～7に準ずる活動



想定される介護予防ボランティアから届く悩み

事務所に入りにくい…
どこに行けば良いの？

スタッフさん、忙しそう…
声をかけにくい…

何をしたらいい？
片付けてもいい？

こんなことを
やってみたい…

電話した時に
事業のことを
知らないと
言われた…



3 介護予防ボランティアとの面談

介護予防ボランティアや社会福祉協議会から、活動を希望する受入施設へ連絡があります。

受入れが決まつたら、施設見学を兼ねて、担当者との顔合わせの場を設けてください。今後のやりとりがスムーズになると同時に、介護予防ボランティアが施設の雰囲気を知る機会になります。面談の中で、活動内容や時間、当日の流れについてきちんと伝え、介護予防ボランティアの不安や疑問にも答えてください。

面談・見学だけの日は、ポイントの付与不可です。



- ・求める活動内容
- ・施設の概要
- ・荷物の置き場所
- ・休憩場所
- ・必要な物品
- ・してみたい活動内容
- ・参加が難しい活動
- ・活動希望日時
- ・禁止事項
- ・個人情報の取り扱い

施設の期待と介護予防ボランティアの期待を

注意！

本事業の対象外となる活動があります

- ・利用者の身体に直接触れる行為
- ・別に報酬を受けて行う活動
- ・介護予防ボランティアの家族のために行う活動
- ・本来施設職員が担うべき業務
例) トイレの介助、送迎車の運転、車椅子を押すなど

※ 判断に迷う場合はお問合せください。

面談の後、何らかの事情で活動予定が変更やキャンセルになるかもしれません。

介護予防ボランティアには施設の連絡先を伝えてください。担当者が不在でも確認ができるよう、職員間で情報の共有をお願いします。

活動体験見学会にご協力ください

介護予防いきいきポイント事業の活動を希望される方向けの体験見学会の開催を予定しています。事前に活動への疑問を解決でき、スムーズに活動開始につなげるための機会ともなります。ぜひご協力を
お願いいたします。

4 活動当日のサポートと振り返り

(1) 活動当日のサポート

当日は介護予防いきいきポイント事業の介護予防ボランティアが来ること、活動内容等を職員全員に周知徹底してください。着替えや荷物を置いたりする場所を確保いただけるようであれば、案内をお願いします。

職員と利用者に介護予防ボランティアを紹介し、活動しやすい雰囲気作りをお願いします。

活動中は、もし自分がボランティアとして施設に行ったらどのように受け入れてもらいたいかという視点で考え、声かけをするなどサポートをしてください。



(2) 振り返り

終了後は、まず「お疲れさまでした。」「ありがとうございました。」と活動をねぎらいましょう。

また、介護予防ボランティアから感想を聞く等、活動について振り返りの時間を持ってください。「今日はどうでしたか？」「お困りのことはありませんでしたか？」など、声をかけていただくだけでも構いません。介護予防ボランティアの安心につながります。施設にとっては当たり前のことでも、介護予防ボランティアにとっては思ってみないことである可能性があります。一緒に振り返りを行う中でそのギャップを埋めて、良い関係を築きましょう。

5 感謝

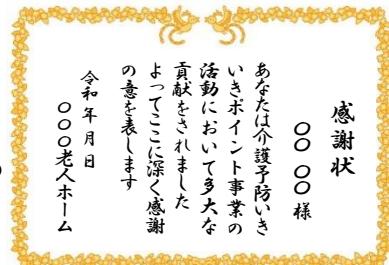
利用者が活動内容にあまり反応がなく、口に出して感謝を伝えられないことがあるかもしれません。そんな時、介護予防ボランティアは不安になったり、活動する意欲をなくしてしまうかもしれません。

介護予防ボランティアに傾聴していただいた場合には、利用者には「しっかりと話を聞いてもらった」という満足感が残り、精神的に落ち着くこともあります。介護予防ボランティアが「人の役に立てた」と思えるよう、声かけや感謝の気持ちを伝えてください。

介護予防ボランティアからは「また来てねと言われることが一番うれしい」という声が届いています。介護予防ボランティアにとって感謝の言葉は、やりがいや次の活動への励みになります。ぜひ心からの感謝の言葉をお願いします。

例えば・・・

- ・日頃の活動に感謝を込めて感謝状を渡す
- ・介護予防ボランティアを招いての感謝の会を開催する
- ・施設の広報に掲載、ポスターとして掲示する など



介護予防いきいきポイント事業についての問合せ先

【運営主体】

社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒595-0026 泉大津市東雲町9-15 市立総合福祉センター内
TEL 0725-23-1393（代表）
FAX 0725-23-1394
メール ikipoint@syakyou.or.jp
ホームページ <http://www.syakyou.or.jp/ikipoint>

泉大津市社会福祉協議会は泉大津市介護予防いきいきポイント事業（担当：高齢介護課）の受託事業者です。

令和7年7月現在